

2024年4月以降変わった 子どもの予防接種について

2024年4月以降、新たなワクチンの導入や、
新規の助成事業が開始されています。

接種スケジュールなど詳しくは、
当院HPの予防接種ページをご覧ください。



自由が丘小児科
ホームページ



1) 5種混合ワクチンの定期接種化

5種混合ワクチン（ゴービック®、クイントバック®）は、従来の百日せきや破傷風、ジフテリア、ポリオを予防する4種混合ワクチンにヘモフィルスインフルエンザ菌b型（Hib）の抗原成分を追加したワクチンです。このワクチンを使用することでワクチンの総接種回数を減らすことができ、乳幼児や保護者の負担軽減につながります。ただしHibワクチンと4種混合ワクチンで接種を開始している場合は、同一のワクチンで接種を完了することになっています。

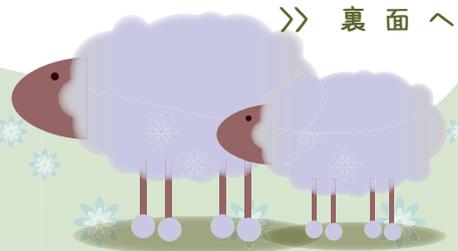
2) 小児用肺炎球菌ワクチンの変更

2024年4月から15価肺炎球菌結合型ワクチン（PCV15：バクニューバンス®）が定期接種化されました。また、2024年10月からは20価肺炎球菌結合型ワクチン（PCV20：プレベナー20®）も定期接種化されました。接種回数、間隔等は同じで、皮下または筋肉内に接種します。原則、1回目に使用したワクチンと同じワクチンを使用します（PCV20またはPCV15）。

3) 経鼻弱毒生インフルエンザワクチン （フルミスト® 点鼻液）の導入

フルミスト® は、インフルエンザの予防のため鼻に噴霧するタイプの弱毒生ワクチンです。不活化インフルエンザHAワクチンと違い、痛みがほとんどありません。2024/25年シーズンから日本においてもインフルエンザ予防の選択肢の一つとして使用できるようになりました。

>> 裏面へ



4) ヒトパピローマウイルス (HPV) ワクチン

a) キャッチアップ接種 【女性：定期接種救済措置】

積極的勧奨が差し控えられていた期間に定期接種の対象であった方(誕生日が1997年4月2日～2008年4月1日の女性)に、2022年4月1日から2025年3月31日までは定期接種として無料で接種が受けられる経過措置が取られてきました。2025年4月1日からは、このキャッチアップ接種期間中に1回以上接種している方については、2026年3月31日まで、残りの接種(全3回)にかかる費用を定期予防接種同様に無料で受けられることになりました。なお2008年4月2日から2009年4月1日までに生まれた女子もその対象となります。

＊自治体によって助成期間等、要件が異なります。
詳細はお住まいの自治体、接種する医療機関にご確認ください。

b) 男性へのHPVワクチン接種費用助成事業開始

HPVワクチンは、これまで女性(小学6年生から高校1年生相当)を対象として定期接種が行われてきましたが、HPVは男性にも感染し、中咽頭がんなどのHPV関連疾患の原因となること、また、集団免疫効果による子宮頸がん罹患率の減少も期待できることから、目黒区では2024年4月から男性(小学6年生から高校1年生相当のみ)への接種費用の助成が開始されています。助成対象ワクチンは4価HPVワクチン(ガーダシル)のみです。対象者一人につき3回(接種完了)まで全額助成されます。

5) 新型コロナワクチン

新型コロナワクチンの無料接種は、2024年3月末までで終了となり、4月から子どもへのワクチン接種は、任意接種となりました。

接種スケジュールなど詳しくは、当院HPの予防接種ページをご覧ください。

自由が丘メディカルプラザ 小児科
<http://www.jiyugaokamp.com/s>
TEL : 03-5731-3565



2025年2月17日改訂
日本小児科学会認定専門医
日本感染症学会専門医
齋藤 義弘

